

ウェイランド公立学校

英語学習者 (ELL)



保護者向けハンドブック

2016年作成

ELL 対象の児童生徒保護者の方々へ:

ウェイランド公立学校へようこそ! 当学区は、18 種類以上の母国語を話す 60 名以上の ELL 対象の児童生徒が在籍する多様なコミュニティです。

このハンドブックでは、ウェイランド公立学校が ELL (英語学習者) 対象の児童生徒に提供するプログラムについて説明いたします。さらに、マサチューセッツ州の初・中等教育省が策定した規制にも触れています。

ウェイランド公立学校の ELL 教師は、お子様の成功を支援するために尽力しています。ご質問は、お子様の通う学校の ELL 教師にお寄せ頂きたく宜しく願い申し上げます。

高校-

アラ・シュミット (Alla Schmidt) alla_schmidt@wayland.k12.ma.us

中学校-

ニコール・コールフィールド (Nicole Caulfield) nicole_caulfield@wayland.k12.ma.us

クレイピット・ハイスクール (Claypit High school)-

バージニア・トナー (Virginia Toner) virginia_toner@wayland.k12.ma.us

ローカー・スクール (Loker School)-

エイミー・ベア (Amy Behr) amy_behr@wayland.k12.ma.us

リタ・トロッタ (Rita Trotta) rita_trotta@wayland.k12.ma.us

ハッピー・ホロウ・スクール (Happy Hollow School)-

アラ・シュミット (Alla Schmidt) alla_schmidt@wayland.k12.ma.us

ニコール・コールフィールド (Nicole Caulfield)

nicole_caulfield@wayland.k12.ma.us

宜しく願い申し上げます。

クリスティー・ハートノ (Kristy Hartono)

ウェイランド公立学校 ELL コーディネーター

508-358-8601 内線 6433

kristy_hartono@wayland.k12.ma.us

ELL とは?

ELLは英語学習者を指します。ELLの児童生徒は母国語が英語ではなく、現状において英語を使った教室での作業が行えない児童生徒として定義されています。

ひとりひとりの児童生徒を効果的に教育するため、ウェイランド公立学校では、ELL対象の児童生徒に対し、英語に堪能になり、全ての課程へ参加できるようにするための機会を提供しています。マサチューセッツ州法では、ELLの生徒は英語に堪能になるまで専門的な指導を受けることが義務付けられています。

*ELL サービスを受けるべき児童生徒はどのように判断されるのですか? *

マサチューセッツ州法により、全ての学区がELLサービスを必要とする児童生徒の特定を義務付けられています。児童生徒がウェイランド公立学校に入学する際、コミュニティの多様性をひろげる様々な言語や文化、バックグラウンドを自身に伴っています。学区の担当者は、ELLサービスを必要とする児童生徒を特定する責任を担っています。

学校への最初の登録時に、保護者は家庭での使用言語に関する調査に答えるよう求められます。この記入用紙は、必要に応じて両親や保護者の母国語で書かれたものが提供されます。家庭での使用言語に関する調査への回答内容により、家庭内で英語以外の言語が使用されていることが判明した場合、ELL教師はアンケートの回答を受理してから30日以内に、児童生徒の英語能力を評価することが義務付けられています。

教師はまた、現行の（教室にいる）生徒についても、いつでも初期テストを受けさせることができます。語学上の問題により、児童生徒が教室で困難に直面していると考え得る理由がある場合には、当該の児童生徒にテストを受けさせる必要があります。

ELLテストでは、児童生徒の英語力について、4つの分野について評価します。話す力、聞く力、読む力、書く力です。幼稚園児童は、話したり聞いたりする部分でのみテストされます。このテストにより、必要とされるELL指導のレベルも決まります。評価が完了すると、保護者は、自身の子供がELLサービスを受ける必要の是非についての通知を受けます。

ELL 指導

英語指導には 6 つのレベルがあります。

- レベル 1: 入門 (Entering)
- レベル 2: 開始 (Beginning)
- レベル 3: 開発 (Developing)
- レベル 4: 展開 (Expanding)
- レベル 5: 克服 (Bridging)
- レベル 6: 移行 (Transitioning)

児童生徒が適切な指導レベルに配置されると、ELL 教師が特別なプログラムを提供し、子供達の英語力を向上させます。プログラムの内容は担任の教師との相談や、識字能力の開発、学区基準ならびに州基準に照らし合わせたうえで慎重に調整されます。すべての書籍と教材は英語で提供されますが、学習の課程やプレゼンテーションは、英語学習をしている児童生徒向けに特別に作成されています。

保護者は、学校 / 教室からの通知表を受け取るのと同じ頻度で ELL の進捗報告を受け取ります。

サービスからのオプトアウト（除外）

保護者はウェイランド公立学校に対し、自身の子供の ELL サービスからのオプトアウト（除外）の希望を通知することが出来ます。（オプトアウトの意思を示す）保護者一人による署名入りの書面による提出が必要です。

ウェイランド公立学校は、保護者に対し、自身の子供達をしばらくの間 ELL プログラムに参加させてから、オプトアウトに関する最終的な決断をすることを奨励しています。保護者が自身の子供達のオプトアウトを決定した場合でも、ウェイランド公立学校は、児童生徒の英語・教育上のニーズを満たす機会が均等になるように、生徒の進歩をモニターし続けます。児童生徒の進歩が思わしくないと判断された場合には、学区が、SEI 教師が ELL 教師と協力して教育上のニーズに確実に対応します。

ELL サービスが必要と判断された全ての生徒は、仮に保護者がオプトアウトを選択してもマサチューセッツ州の初・中等教育省に報告されなければならないが、児童生徒は ELL サービスの受講終了が可能となる条件を満たすまでの間、法的に義務付けられているテストを通じて、毎年評価を受けなければなりません。

終了手続き

ELL の児童生徒が特定の基準と評価結果を満たしている場合、該当の子供を担当する教育チームが進捗状況を確認します。レビューには、子供が話す、聞く、読む、書く 4 つの分野について、堪能になっているか否か、が含まれます。ELL サービスがもはや必要でない場合、児童生徒は FLEP（以前限定的な英語能力だった人）として再区分されることが可能となります。プログラムを終了した児童生徒は、ELL を終了後 4 年間、毎年最低 1 回モニタリングされます。

よくある質問

Q. ELL 対象の児童生徒の進捗状況のモニターは、どのくらいの頻度で行われますか？

A. すべての ELL 対象の児童生徒は毎年 1 月に ACCESS で英語力を評価します。また、内容の読解力についても同様です。

Q. 平均的な生徒が ELL を完了するまでにどのくらいの時間がかかりますか？

A. この質問には本当の答えはありません。すべての生徒は異なりますし、さまざまなバックグラウンドや

学校での経験も多種多様だからです。

ご自身の子供の ELL での進捗についてお話しになりたい場合には、必ず ELL 教師またはお子様の教師までご連絡ください。

Q. 両親が児童生徒の英語力を高めるには、どうすればよろしいですか？

A. お子様と一緒に音読したり、歳の大きい児童生徒に関しては可能であればオーディオブックを英語・母国語の

両方で聞かせたりすることが有効です。なぜならば、子供達は言語を自然な設定で学ぶからです。

また、授業中や放課後のクラスメートとの活動に参加させることも重要です。

詳細については、ELL の Web ページを参照してください。:

<http://www.wayland.k12.ma.us/cms/One.aspx?portalId=1036435&pageId=21898107>